



イマジン ロータリー

2022~2023
RIテーマ

イマジンロータリー

本年度クラブテーマ

「以和為貴」 和を以て貴しとなす

創立: 1991年7月13日

会長/湊 修

幹事/熊谷 健司

会報広報委員長/熊谷 健司

■例会日/毎週金曜日12時30分 ■例会場/ホテルメトロポリタン秋田 ■事務局/秋田市中通7丁目2番1号 ホテルメトロポリタン秋田内

第1421回<今年度第11回>例会 2022年10月28日(金)

【会長の時間】

会長 湊 修



先週は津ねやさんで秋を食する例会が行われました。
佐々木親睦委員長のゲームもあり、大変楽しい例会となりました。
ありがとうございました。
本日は大場様とても興味深いお話をありがとうございました。
大場さんは自分の患者さんで、矯正治療をしました。
始めはシフトで働いている方なのかなと思っていたのですが、お話を聞くとそうでは無く、リモートで働いているとの事でリモートワークというのがどんな働きかたで、実際どんな感じなのかと興味が湧きました。
更に来月にはリモートワークからリモートワークへ転職すると聞いた時には更にビックリしました。
リモートワークに対応できる、ということも既に一つのスキルなのだと感じました。

今回自分自身が1番聞いてみたいというのもあって、スピーカーにお願いしました。
自分も色々考えさせられるお話しでした。
大場様本日はありがとうございました。

【幹事報告】

通信

*ガバナー事務所

- ・2023年国際ロータリー年次大会【メルボルン大会】案内
開催日 2023年5月27日~31日
開催登録 オンラインで各自にて登録となります。
登録料 12月15日までは475ドル
3月31日までは575ドル

information

『12・1月の例会プログラム予定』

12月2日 年次総会	30日 特別休会
9日 S・A・Aの時間	1月6日 祝日週の休会
16日 フリートークタイム	9日 祝日週の休会
理事会報告 インフォメーション	20日 青少年奉仕委員会の時間
23日 例会変更: 18日(日)クリスマス家族例会	23日 フリートークタイム
会場 ホテルメトロポリタン秋田	理事会報告 インフォメーション
時間 16:30~	

【出席報告】

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	マークアップ
10月28日	40名	29名	11名	72.50%	7名
10月21日	40名	30名	10名	75.00%	1名
10月7日	40名	29名	11名	72.50%	2名

【フリースタイル】 ゲストスピーチ:大場 由衣 様 テーマ:「100%リモートワークという働き方」



私は、日本荘市に生まれ、高校卒業後、関東に就職をしましたが、出産を機に地元由利本荘市へ戻りました。

ハローワークを通して就職活動をし、地元の企業に勤めていましたが、今は東京の企業で営業事務として就業しています。

東京の企業に就職して2年ほどになります。

そして100%リモートワークです。

コロナ渦になって、私自身の業務を改めて見つめ直したとき、「リモートワークであればパソコン一台で出来る仕事かもしれない」と考え始めことがきっかけで、リモートワークできる企業をネットで探し、転職を決めました。

現在、ミーティングは全てオンライン、書類関係もクラウド会計ソフトで行い、全ての業務をパソコン1台で行っています。

お客様もほぼオンラインの会議を行っている企業がほとんどですので、地方に住んでいても不便ややりにくさは感じません。

電卓と書類を多用していた前職と比べると、ペーパーレスになり、紛失等の心配もなくなりました。

ちなみに、私は一度も会社へ行ったことがありません。

本荘の地元企業で働いていた時には、片道30分、冬場は1時間弱の距離を車で通勤していました。子供がいるので朝は5時に起き、子供を送り出し、夜は帰ってきてから家のことを終えて、寝るのは深夜というスタイルでした。

働きながら一人で家のこと、子供のことをするのは大変で、子供達とゆっくり関わる時間はありませんでした。

肉体的にも精神的にも余裕がなかったですし、子供達にも辛い寂しい思いをさせていたと思っています。

子供達を育てるために働いているにも関わらず、子供達と過ごせない事に矛盾を感じていました。

実は、来月からは、現職でのリモートワークでの経験を買って頂いた企業へ転職をすることが決まっています。

リモートワークでの経験があるということ即戦力となるということをお話して頂き、また、現職での業務をそのまま次の企業でも続け、ステップアップを目指すことになりました。

今と変わらない働き方で、もっと大きな企業と関わる事ができるのもリモートワークの魅力であると感じます。

キャリアやスキルがあるにも関わらず、子育てや介護、身体の不都合などで仕事を制限しなくてはならなくなった人が、県内にもたくさんいると思います。

また、通勤や就業時間など働き方で仕事の選択肢が無い方もいるかもしれません。

そういった方でも無理なく働ける環境がある、ということをお話は身を持って体験しました。

私は地元に戻ってきてよかったと思っています。

ただ、あのまま地元企業で働き続けていた場合には残念ながら今の気持ちにはなれなかったと思います。

地元には仕事がないから東京に行って働く。といった話も耳にしますが、仕事によっては私のように地元にいながら東京の企業で働くこともできます。

住みたいところ、暮らしたいところで暮らしながら、仕事も生活も充実した生き方ができたらと思います。

もっとリモートワークの良さを県内の方にも知ってもらい、働きやすい企業が増えて行けばいいなと感じています。

一社員を代表して、雇用と働き方を考えていただける機会になれば幸いです。

ご清聴ありがとうございました。

ニコニコNEWS

中村 瑞樹 会員

昨日、元会員の木村昭二さんに呼ばれて自宅へ訪問して来ました。DXの畠山元会員さんと今も交友があるとの事、畠山社長の家につけた、手すりを見て私を思い出してくれたようです。ロータリーが作ったキズナは永遠ですね。でも、皆様お年をめされて手すりが必要になっていたようです。(1口)

先週の21日、母校の東中学校に呼ばれて2学年120人位に「ワクワク感は元気の元」と題してスピーチさせて頂きました。築山チクチク針の山、明德メーデーやぎのふん、中道なかなかいい学校、保戸野本当にいい学校の話で笑いを取ろうとしたらスベってしまい、その他の話も先生方にうけていました。ついつい校歌もさわりを歌ってしまい調子こいてしまいましたのでニコニコ。(1口)